

**製品名: Bak ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab03721**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 23 kDa; Observed MW: 23 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	BAK1
別名	BAK1; BAK; BCL2L7; CDN1; Bcl-2 homologous antagonist/killer; Apoptosis regulator BAK; Bcl-2-like protein 7; Bcl2-L-7
遺伝子 ID	578
SwissProt ID	Q16611
免疫原	ヒト Bak の合成ペプチド

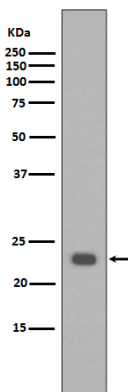
**背景**

BakはBcl-2ファミリーに属するアポトーシス促進因子です。このタンパク質はミトコンドリア外膜に局在し、ミトコンドリア経路を介したアポトーシスシグナル伝達に不可欠な構成要素です。アポトーシス刺激を受けると、上流刺激因子（例えば切断型 BID (tBID)）がBakの構造変化を誘導し、ミトコンドリア膜にシトクロムc放出のためのオリゴマーチャネルを形成します。シトクロムcが細胞質へ放出されると、カスパーゼ9経路が活性化され、最終的に細胞死に至ります。

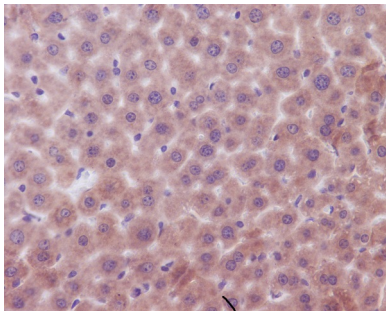
## 研究分野

細胞生物学

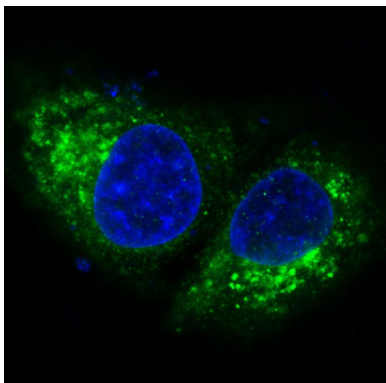
## 画像データ



Bak 抗体を使用した HeLa 溶解物中の Bak のウェスタン ブロット分析。



Bak 抗体を使用したパラフィン包埋マウス肝臓の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



Bak 抗体を使用した Hela 内の Bak の免疫蛍光分析。